



大学病院と都市型地域医療を考えるシンポジウムを開催

平成29年度 文部科学省「課題解決型高度医療人材養成プログラム」採択事業

横浜市立大学は、平成29年度文部科学省「課題解決型高度医療人材養成プログラム」*1に採択された事業「都市型地域医療を先導する病院変革人材育成」(事業責任者:附属市民総合医療センター病院長 後藤隆久)の一環として、大学病院と都市型地域医療を考えるシンポジウムを開催します。

当日は、大学病院をはじめとする医療機関の経営戦略を立てていける人材の育成を目指して、病院経営管理や医療安全管理、医療行政の視点から、多様な分野の専門家による講演を行います。

◇概要(詳細は、別添ちらし参照)

日時	平成30年2月24日(土) 18:00~20:00
会場	神奈川県立かながわ労働プラザ 多目的ホール (石川町中華街口から徒歩3分) 横浜市中区寿町1丁目4番地
テーマ	大学病院と地域の病院・診療所との連携と機能分担 —都市における医療の課題と将来の方向
プログラム	座長 田中 滋 氏(慶應義塾大学 名誉教授) 演者 渋谷 明隆 氏(北里大学医学部医療安全・管理学 教授) 今村 英仁 氏(公益財団法人慈愛会 理事長) 増住 敏彦 氏(横浜市医療局長) 後藤 隆久(横浜市立大学附属市民総合医療センター病院長、麻酔科学教授)
参加費	無料

*1 文部科学省「課題解決型高度医療人材養成プログラム」

全国の大学・大学病院における人材養成機能を一層強化し、我が国が抱える医療現場の諸課題等に対して、科学的根拠に基づいた医療を提供でき、健康長寿社会の実現に寄与できる優れた医療人材を養成することを目的に平成26年度より実施されている事業。今年度新たに、健全な病院運営実現のための教育プログラムの開発及び教育体制を構築し、地域の実情に応じた経営戦略の企画・立案能力を兼ね備えた医療人材を養成するため、「病院経営支援に関する領域」をテーマとして公募され、応募17件中、10件が採択。

本学採択事業「都市型地域医療を先導する病院変革人材育成」では、典型的な都市型地域医療の課題(高齢化に伴う急性期病床の過剰と回復期・慢性期病床や地域の介護力等の不足、大学病院の使命である高度医療、急性期医療を終えた患者を地域の戻す際の困難さ等)を克服し、大学病院の健全経営を担保するための人材育成を行う。

事業年度:平成29年度~平成33年度 5年間(予定)

補助金額:初年度1千万円(4年目は2/3、5年目は1/3)



お問い合わせ先	
(本シンポジウム内容について)	
附属市民総合医療センター 総務課長 齋藤 龍也	TEL 045-253-5302
(本事業に関する内容について)	
福浦キャンパス学務・教務課長 谷 誠司	TEL 045-787-2501

病院経営マネジメント シンポジウム

都市型地域医療を先導する病院変革人材育成

横浜市は、超高齢社会を迎えるにあたり、地域医療に都市特有の課題を抱えています。本事業では、これら地域の課題を踏まえながら、大学病院を初めとする医療機関の経営戦略を立てていける人材（病院経営幹部、行政担当者等）を育成することを目指しています。そのキックオフとして、次のとおりシンポジウムを開催します。多くの方の参加をお待ちしております。

日時

平成30年 **2月24日** 土 18:00 → 20:00

テーマ

大学病院と地域の病院・診療所との連携と機能分担
都市における医療の課題と将来の方向

座長

田中 滋氏（慶應義塾大学大学院 経営管理研究科 名誉教授）

演者

今村 英仁氏（公益財団法人慈愛会 理事長）

渋谷 明隆氏（北里大学医学部 医療安全・管理学 教授）

増住 敏彦氏（横浜市医療局長）

後藤 隆久（横浜市立大学附属市民総合医療センター 病院長）

参加費
無料



会場

神奈川県立かながわ労働プラザ
3階 多目的ホール 横浜市中区寿町1丁目4番地

▶鉄道(最寄駅)

JR 京浜東北・根岸線「石川町駅」中華街口(北口)から徒歩3分

JR 京浜東北・根岸線「関内駅」南口から徒歩8分

横浜市営地下鉄ブルーライン「伊勢佐木長者町駅」出口2から徒歩12分

横浜市営地下鉄ブルーライン「関内駅」出口1から徒歩12分

▶お車で越しの方

かながわ労働プラザの駐車場がご利用頂けます。

100円(20分) 5時間以上は一律1,500円

駐車場利用時間 8:00-22:00

※駐車台数に限りがありますのでご注意ください(機械式55台)

主催：横浜市立大学 共催：横浜市医療局

申込

下記ページから申し込みフォームへ進みお申し込みいただくか、QRコードを読み取ってお申し込みください。(先着200名様)

http://www-user.yokohama-cu.ac.jp/~hp_mgt/event/symposium/



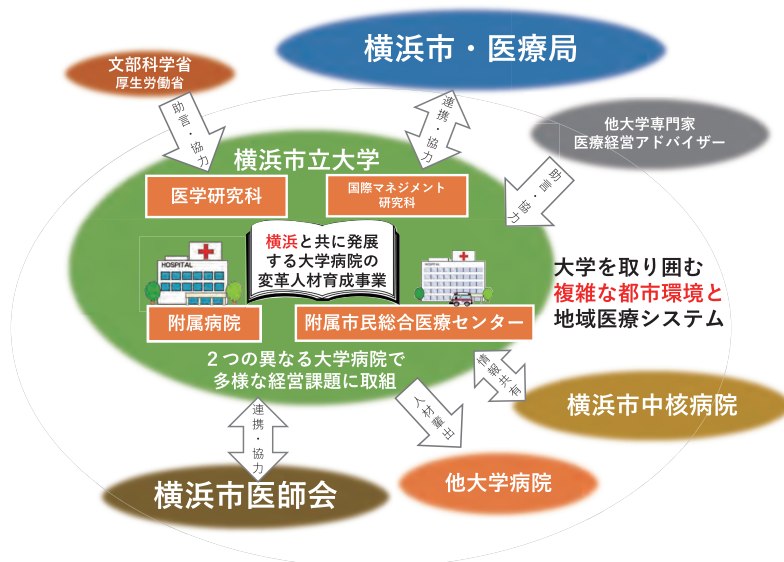
都市型地域医療を先導する 病院変革人材育成

ー大学病院長・幹部候補のライセンスとしての履修証明プログラムー

本プログラムは、文部科学省の「課題解決型高度医療人材養成プログラムー病院経営支援に関する領域」に選ばれた、1年の大学院コース（履修証明プログラム）です。

E-learning 等を多用して、社会人の方でも無理なく学べるプログラムになっています。対象者は 医師、看護師、その他医療従事者、行政職、事務系の方々と、以下のような力を持つ人材を養成します。

- 医療安全や病院管理等の基本的資質に加え、地域毎の医療環境の中での自院の戦略的ポジショニングを考え、大学病院を変革する力
- 地域の医療・介護システムを構築していく中で大学ならではのリーダーシップを発揮し、病院単独では解決できない経営問題をその地域の行政、医療・介護の担い手、住民等と協働しながら解決する力



ご挨拶

大学病院がブランド力だけで患者さんを集める時代は終わりました。大学病院も医療を取り巻く外的環境や政策の変化に適應し、自らが変化することで、より多くの患者さんに選んでいただく病院になっていかなければなりません。

特に横浜を初めとする都市圏は、これから始まる急激な高齢化、希薄になりがちな人間関係、地域の介護力不足など、いくつか特徴的な問題を抱えています。

このような課題に取り組む人材を育成するため、本コースは、経営に携わる幹部はもちろんのこと、職種、院内外を問わず大学病院の経営を支えるすべての方に、医療経営学、政策学の理解と、考察のトレーニングを行うことを目的として開設いたします。多くの皆様のご参加をお待ちしております。



事業執行責任者 附属市民総合医療センター 病院長 後藤 隆久